

# 1. 予防接種スケジュールや接種間隔について

ワクチン	種類	乳 児 期							幼 児 期					学童期				
		2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	12か月	16か月	18か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
ロタウイルス	ロタテック (5価)	①	②	③														
	ロタリックス (1価)	①	②															
五種混合	不活化	①	②	③								④						
小児用肺炎球菌	不活化	①	②	③						④								
B型肝炎	不活化	①	②				③											
BCG (結核)	生					①												
水痘 (水ぼうそう)	生									①		②						
麻疹風しん第1期	生										①							
日本脳炎第1期	不活化													①②	③			

←→の期間は定期接種対象年齢です。それぞれの望ましい接種年齢を○で示してあります。

## 【接種間隔の例】ロタウイルス・小児用肺炎球菌感染症の場合

### ロタウイルス・小児用肺炎球菌感染症の接種間隔について

#### (1) ロタウイルス感染症予防接種 ◆生後14週6日までに初回の接種を受けましょう

初回の接種を生後2か月から生後14週6日までにいきます(生後6週から接種できます)。初回の接種を生後15週以降に受けることはおすすめしていません。2回目以降の接種は27日以上の間隔をあけていきます。

	回数	接種間隔・回数
ロタテック® 5価経口弱毒性ロタウイルスワクチン (5価)	3回	<p>6週 1回目 → 27日以上あける → 14週6日 2回目 → 27日以上あける → 32週 3回目</p> <p>※2回目以降の接種は生後14週6日の前後いずれでも接種できます。</p>
ロタリックス® 経口弱毒性ヒトロタウイルスワクチン (1価)	2回	<p>6週 1回目 → 27日以上あける → 14週6日 2回目</p> <p>※2回目以降の接種は生後14週6日の前後いずれでも接種できます。</p>

#### (2) 小児用肺炎球菌感染症予防接種

小児用肺炎球菌感染症予防接種は、肺炎球菌による重い感染症(細菌性髄膜炎、敗血症など)の予防を目的とします。

●対象年齢: 生後2か月以上5歳未満

●接種開始時期等によって接種回数が異なりますので、ご注意ください。

	初回接種開始年齢	回数	接種間隔・回数
標準	生後2か月以上 7か月未満 初回3回 追加1回	4回	<p>2か月 初回① → 27日以上 → 7か月 初回② → 27日以上 → 1歳 初回③ → 60日以上あける → 1歳以降 追加</p> <p>※初回2回目、3回目は2歳未満までに終了させ、2歳以降は接種を行わない(追加接種は可能) ※初回2回目1歳を超えた場合、初回3回目の接種は行わない(追加接種は可能)</p>
	生後7か月以上 1歳未満 初回2回 追加1回	3回	<p>7か月 初回① → 27日以上 → 1歳 初回② → 60日以上あける → 1歳以降 追加</p> <p>※初回2回目は2歳未満までに終了させ、2歳以降を超えた場合は行わない(追加接種は可能)</p>
	1歳以上2歳未満 初回2回	2回	<p>1歳 初回① → 60日以上あける → 1歳以降 追加</p> <p>※追加接種は行わない</p>
	2歳以上5歳未満 初回1回	1回	<p>2歳以上 初回①のみ ※追加接種は行わない</p>